



PHOTO EYE

ジャワ島ガルンゲン火山1982年の噴火

1982年4月5日未明、インドネシア、バンドン市南東約60kmにあるガルンゲン火山が、50年余りの静穏を破って突如噴火を始めた。幸い死者は出なかったが、ラハール(火山泥流)に埋められ、降り注ぐ火山灰に覆われて、家屋・農作物の被害は甚大であり、付近の住民3.5万人以上が永い間の避難キャンプ生活を強いられた。

写真1(上) 山頂の溶岩ドーム脇の新火口から煙とともに流下する熱雲。この後の爆発でドームの90%が吹き飛ばされた。

写真2(下) ラハールに半分埋められた民家。住民は着の身着のまま避難したので、屋内は生活跡も生々しい。(共に1982年6月5日火口から約3kmのチカササで撮影)

(環境地質部 安藤直行)

